

# 高岡市(北陸圏・中部圏ブロック)

(2期 計画期間 24年4月～29年3月)

奈良時代:越中国府が置かれ、大伴家持が赴任。  
江戸時代:加賀藩前田家2代目当主 前田利長公が高岡城築城。  
商工業を中心とする商人の町として発展。  
現在:多くの歴史的・文化的資産を今に残しており、「高岡市歴史まちづくり計画」(国認定)に基づき、歴史都市・高岡を目指している。

## 【中心市街地を巡る状況】

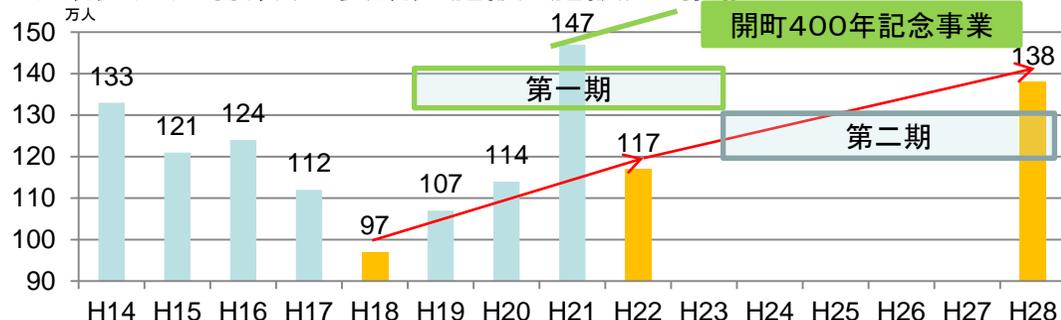
○中心市街地に集積する歴史・文化資産の活用、公共交通の利便性向上によるまちの賑わい創出を目指した1期計画の実施。(H19～H23)

○観光客入込み数、空き店舗数は改善し、歩行者・自転車通行量は下げ止まり傾向になる等一定の成果が発現。

○平成26年の北陸新幹線開業による効果を中心市街地に取り込むべく、高岡駅周辺整備事業等による交通結節点としての機能強化、まちなかの回遊性を高めるための拠点整備を実施することにより、更なる中心市街地の活性化を図る。

目標	指標	現況値(H22)	目標値(H28)
歴史・文化資産の活用によるまちなか交流人口の拡大	観光客入込み数	117万人	138万人
中心商店街の賑わいの創出	歩行者・自転車通行量	11,700人	14,900人
	空き店舗数	23件	15件
まちなか居住の促進	居住人口	16,360人	16,500人

## ○観光入込客数(主要観光施設6施設)の推移



## ■歴史・文化資産の活用によるまちなか交流人口の拡大

→①高岡御車山会館建設事業、②中心市街地ストリート回遊計画事業 等

## ■中心商店街の賑わいの創出

→③新高岡ステーションビル建設事業、④高岡駅周辺整備事業、高岡駅地下街リニューアル事業 等

## ■まちなか居住の促進

→⑤まちなか居住支援事業、まちなか共同住宅建設促進事業、⑥中心商店街ミニ拠点開発事業 等

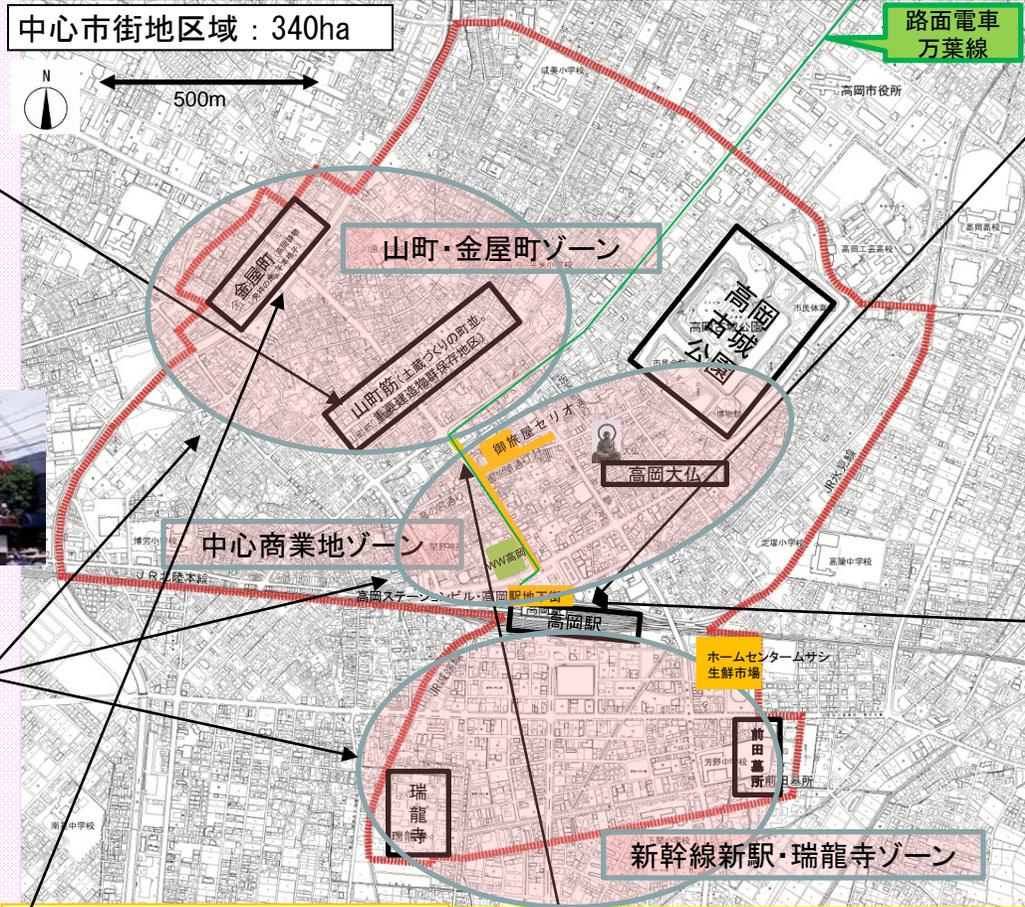
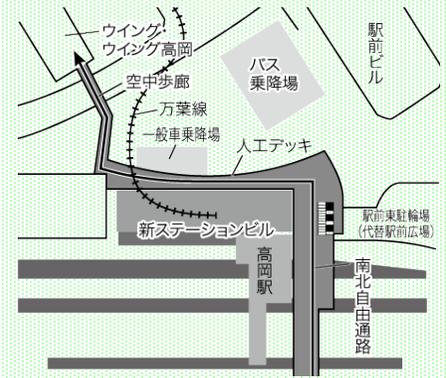
# 高岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 中心商店街の賑わいの創出

③新高岡駅ビル建設事業  
 駅ビルの再整備を行い、1階に万葉線の乗り入れる**交通広場**、2階に**商業施設等**を整備し、集客と公共交通の機能強化を図る。



④高岡駅周辺整備事業  
 高岡駅地下街リニューアル事業  
 新駅ビルとウイング・ウイング高岡を結ぶ**人工デッキ**、**万葉線の高岡駅前の乗り入れ**、**駅地下商店街の再整備**等により、駅周辺の利便性を高め中心商店街への波及効果をもたらす。



## まちなか居住の促進

⑤まちなか居住支援事業  
 ○まちなか共同住宅建設促進事業  
 分譲・賃貸による**共同住宅**や**高齢者向け住宅**の建設費、または**新築・中古住宅等の購入費**に対する助成を行う。

⑥中心商店街ミニ拠点開発事業  
 中心市街地の老朽施設を再整備し、**单身者向共同住宅12戸**と**商業施設**を複合した施設を整備する。

## 歴史・文化資産の活用によるまちなか交流人口の拡大

①高岡御車山会館建設事業  
 ○平成の御車山制作事業  
 山車祭りでは全国5か所しかない重要有形・無形民俗文化財である「**高岡御車山祭**」を**総合展示する施設**の整備。

また、**伝統技術**を活かした**山車を新作**し、その制作過程を公開し集客を図る。



## ②中心市街地ストリート回遊計画事業

中心市街地と新幹線新駅までの地域を3つに区分し、全体として、また各ゾーンでの特性に応じ、**道路修景**、**休憩所・案内板の設置**、**観光情報の提供**等の**歩くことを楽しむ取組**を実施する。

## ○金屋町鋳物工場跡地整備事業等

高岡鋳物発祥の地である金屋町において、**キュポラのある鋳物工場の復元**、**観光駐車場等整備**により集客向上を図る。